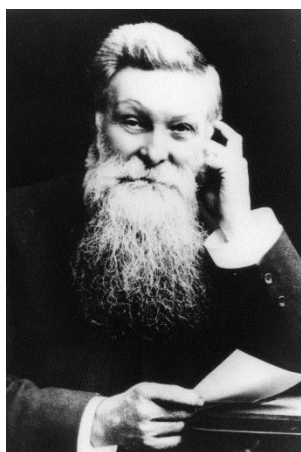


No. 2018-1

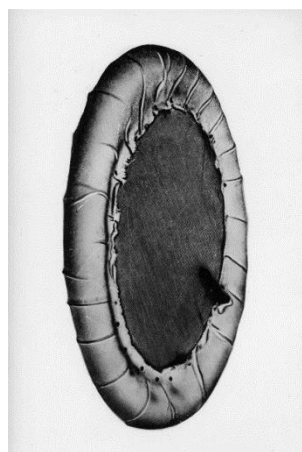
発行:2018年1月9日

ダンロップ  
**DUNLOP**空気入りタイヤの実用化から 130 周年

住友ゴム工業(株)(社長:池田育嗣)は、DUNLOPの創業者である J. B. DUNLOP(ジョン・ボイド・ダンロップ)が空気入りタイヤを 1888 年に実用化してから今年で 130 周年を迎えます。このたび、それを記念して「130 周年記念ロゴ」を制定しました。



J. B. DUNLOP

DUNLOP が実用化した  
世界初の空気入りタイヤ

「130 周年記念ロゴ」

1888 年、アイルランドに住む獣医師である J. B. DUNLOP が息子の三輪車のために世界で初めて空気入りタイヤを実用化しました。以降 DUNLOP は、ハイドロプレーニング現象<sup>※1</sup>の解明、ランフラットタイヤの実用化、「サイレントコア(特殊吸音スポンジ)」搭載タイヤの開発、石油などの化石資源を一切使用しない世界初<sup>※2</sup>の 100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ 100」の開発など、数々の先進的な技術を生み出してきました。

「息子がもっと楽しく快適に三輪車に乗れるように」という愛情から空気入りタイヤを作った J. B. DUNLOP の思いを受け継ぎ、DUNLOP はこれからも独自の技術で、より安心・安全で環境に優しい製品をお届けしてまいります。新しい価値を創造し続ける DUNLOP の 130 年目の挑戦と進化にご期待ください。

※1 濡れた路面を高速で走行した際にタイヤと路面との間に水膜ができることによって浮いた状態になり、ハンドルやブレーキがコントロールできなくなる現象

※2 合成ゴムが主流になって以降(当社調べ)

以上

〈商品・イベントに関するお問い合わせ先〉

タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788